

中川村議会だより第143号（2025年12月議会）アンケート結果

1 143号の表紙について

- ◆ 降り積もる雪は様々な物を消し、静かな幻想的な世界を見せてくれます。冬の美しさを感じます。
- ◆ 中川村には素敵な画伯がたくさんいたのですね。毎回「今度の表紙はどんなのだろう？」と楽しみにしています。
- ◆ 落ち着いた画風で冬を表現したとてもいい絵です。中川村にたくさんの画伯がいることに驚きます。
- ◆ 支柱のようなものがあるから果樹園に積もった雪に映る木の影かしら。冬の表紙らしい風景ですね。
- ◆ 陰影の表現がとても絶妙で、おしゃれで印象に残る表紙だと感じました。村の雰囲気や季節感が伝わる、良いデザインだと思います。
- ◆ 素敵な油絵でした。季節感のある中川村の景色だなと感じました。
- ◆ 雪が降った朝の果樹園の絵でしょうか。静謐な空気感まで感じられる素敵な絵だと思います。ただ前号とモチーフが似ているので、連続で同じ作者さんをお願いするより順番を入れ替えた方が毎回新鮮に感じられるかもしれません。
- ◆ 一面真っ白に降った雪に、木の影が差しているシンプルな風景画ですが、洗練された印象を受けました。木そのものではなく、あくまで影をメインにしているところがとてもお洒落で素敵ですね。
- ◆ 雪原に梨の木の影。寒い景色だけれど、影の濃さから太陽の明るく暖かい日差しを感じます。
- ◆ 季節感があり美しいと思います。
- ◆ 毎回どんな表紙なのか楽しみにしています。

2 143号の紙面構成について

- ◆ 一般質問のページについて・・・問いに対して答えが明確なテーマとして書かれているので、興味をもって読めます。
- ◆ 写真もイラストも視覚的に情報を補足していて良いと思います。写真多めの方がさらに良いかと思います。
- ◆ 写真やイラストがところどころに入り見やすいです。
- ◆ 写真や絵等記事を読むうえでとても効果的に載せられていると思います。
- ◆ 良いと思います。
- ◆ 全体的に読みやすく、内容も整理されていて理解しやすい構成でした。
- ◆ 今回、チョコっと訪問がなかったので、寂しいなと感じてしまいました。なにげに、自分は楽しみにしていたのだと気付かされました。笑 企業だけでなく、団体等も取材していくことですので、中川村で頑張っている方々の近況を知れるのを楽しみに

しています。

- ◆ たまたま、町村議会広報コンクールの作品を見ましたが、タイトルなどは文字を大きくしインパクトがあり、写真や数字など大小さまざまな配置にしている見やすいと感じました。一般質問などは「議員が切り込む！」などわかりやすかったのも、そういったものを取りいれても面白いのかなと感じました。
- ◆ チョコッと訪問は今回はお休みでしたが、今後も様々な人々や取り組みを掘り起こしてくれると嬉しいです。
- ◆ 議案関係の報告が12月定例会の分だけなので仕方ないですが、普段の号と比べるとややさみしく感じました。
- ◆ 従来どおり、文字サイズも読みやすい大きさと、使っている色も限られているのでごちゃごちゃとせず、見やすくまとまっているように思います。
- ◆ 一般質問それぞれに、画像やイラストが付いていて、内容をイメージしやすかった。
- ◆ 絵や写真が入っているので紙面が見やすい。

3 143号の記事の内容について

- ◆ 一般質問より・・・新たな学校、チャオ、チャオ周辺のあり方について村民にとって生活のベースとなる場所であるため、十分考慮して事業を進めてほしいです。
- ◆ 新たな学校づくりと村の財政で今回見えてきたこと・・・希望や理想と現実の折り合いのつけ方、落としどころの難しさを肌で感じました。
- ◆ 村づくり委員会に期待しています。若者の声を村政に反映させてください。
- ◆ 合同視察研修の記事を読んで、農産物販売のお店が思ったより各地に遭って意外でした。確実に中川村に寄与してくれている活動に感謝とこれからも続けてほしいと思いました。
- ◆ 視察報告で関東方面での地域振興をやられていることを知りました。中川村の特産品の販売先が広がる拠点になるといいなと思います。
- ◆ 村づくり委員会のように、村の将来を考える人たちとつながれる機会や、関係人口を増やす取り組みは、今後も積極的に進めてほしいと感じました。村内にはさまざまな考えや背景を持つ方がいますので、そうした方々と直接話し、困りごとや要望の声を丁寧に拾っていくことが大切だと思います。特に議員の皆さんには、多様な村民と関わりながら幅広い分野の知見を深め、活発で建設的な議論や答弁を期待しています。また、去年は熊への関心が高かった印象があります。県や村として、法律上どのような対応が可能なのか（放獣・捕獲・殺処分など）、選択肢とその判断基準について分かりやすく示していただけると、住民の安心感にもつながり、他の対策の検討にも役立つのではないかと思います。さらに、特産品の創出についても、村内にどのような魅力や人材があり、どのような可能性があるのかを共有し、住民同士がつながれる機会を増やすことが重要だと感じます。本来は商工会の役割でもあると思いますが、地域全体で連携しながら進めていく取り組みを計画していく必要があるのではないのでしょうか。

- ◆ 補正予算の内容など、分かりやすくよかったです。各質問に対しての回答などもわかりやすくまとめられていると感じました。
- ◆ 議会から提案等あって採用されたり、検討されているもののその後はどうなっているのかな。と思うこともあります。そういったものを広報していくと、議員のみなさんの活動内容がより知れてよいと感じます。
- ◆ 各課題は相互に関係している部分もあり、横断的対応をしていくための核となる村のブランドデザインが必要だろうと思いました。
- ◆ 学校づくり、クマ問題、空き家問題、村の魅力づくりなど、一般質問の内容は喫緊の課題がきちんとピックアップされていて興味深かったです。
- ◆ 一般質問の中の中川村ブランドの発信に関する質疑応答を拝読して、以前テレビで放送されていた、伊那谷の新たな特産品として売り出し始めている“マイヤーレモン”の特集番組を思い出しました。みかんやデコポン等は多くのご家庭にもあると思いますが、レモンをわざわざ買って食べる人は結構限れてくるでしょう。そこで、その伊那谷で生産している一般的なレモンよりも酸味が控えめで食べやすいマイヤーレモンのプロモーションが実を結んで、現在各家庭でみかんが鎮座している地位に近づける日ように、どんだん村としても応援していただけるととっても嬉しいなと思いました。
- ◆ 視察報告が詳しくてわかりやすい。視察のまとめや、視察を今後どう生かしていくのがわかった。
- ◆ 島崎議員の一般質問の村長の返答からは、なぜ遅れているかの原因が読み取れず、今後にも不安が残ります。
- ◆ 毎回、住んでいながら知らない企業や施設を知ることのできる「チョコっと訪問」を楽しみにしているが、普段議員さん方がどのように活動しているのかも知ってみた（1回と思った。（率直に議員さんの活動を知り理解を深めたいと思ったので）

4 議会広報ならびに村民と議会のコミュニケーションについて

- ◆ お互いの意見や考えを知るには、やはり対話をするのだと思います。集会に参加することが良いと思いますが、地区総会・行事等でも議員の方々と話せたら良いと思います。
- ◆ 1月25日に役場議場で「村議との懇談会」が開催された様子を次号で詳しく紹介してほしいです。そして、このようなざっくばらんに議員さんとお話ができる機会をもっと増やしてもらえると良いと思います。
- ◆ 先日は中川もちよらまい会さん主催のもと、大勢の議員さんに貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。感じたこととして、やはり交流の場がもっと必要だということがあります。夏の改選にむけて若手に政治参加を期待されるのはわかります。しかし現状のお話を聞くかぎり、次の新議員たちで自分たちが働きやすい制度設計をしていってください、という風にも聞こえました。なかなかそんな余裕がない人が多いと思いますし、やや拙速な感がありました。気軽な政治参加・意見交換の場が日頃からあればと思われま

- ◆ モニターアンケートに同封されていた「村議との懇談会」のチラシに関しまして、私の腰が重すぎることが何よりの原因ではあるのですが、「行ってみよう！」と思える“きっかけ”が上手く見つけられなかったり、イマイチ自分が参加している様子が想像できず、見送ってしまいました。すみません……。よろしければ次回以降の議会だよりでどんな参加者さんがいらっしゃって、どんなお話をされたのかぜひ教えていただけると嬉しいです。もし次回開催されることがあれば、その参加の“きっかけ”にさせていただければな、と思います。
- ◆ チョコッと訪問を楽しみにしています。地区の春祭り、秋祭りに参加するのも面白いかも。渡場には、「うまいもの会」という集まりがあります。春は山菜、秋はきのこを取りに行っておしゃべりする会です。多分、30年くらい続いています。お酒好きのおじさん達の楽しみです。

5 議会・村に対するご意見・ご要望

- ◆ 学校やチャオの内容になりますが、教育も福祉も村民にとっては大きな関心事です。今後も議会だより等を通じて現状をお知らせください。
- ◆ 総務経済委員会視察報告では、出店の様子は伝わりますが事前にあらかじめ周知しておくのと都会に住んでいる中川村出身の身内や知人学生等に伝わり更にその人たちが家族や知り合いを連れて出店先を訪れるのでは？事前通知を超え高に伝えてみてはいかがでしょうか？
- ◆ 統合する新小中学校の校舎が新設されないことになったという話題は衝撃的でした。信毎に小さく記事が載っていたので気づきましたが、その後村 HP を確認してもそうした情報はなく、村にとって大きな決断ですので正式な見解を発信していただきたいと思っています。また、小中学校の統合は予定通り進める方針のようですが、受け皿となる校舎がなくなったことで、現状の校舎や環境でどのような学びの体制を整えるのかを改めて議論すべきと考えます。大切な統合事業が中途半端な形で終わらないよう慎重な議論を求めます。
- ◆ 学校建設と財政を考えると歴民館の規模は必要だったのでしょうか？子供たちが毎日通う学校にもっと重点をおくべきだったと思います。（今さらですが）
- ◆ みなかた地区で商店の消滅危機が起きています。特に役場周辺の空洞化が深刻で、マルトシの支店の撤退、将来的な小学校の統合など、住民交流の場まで無くなりかねない状態です。望岳荘やはちみつ工房の活用をどう考えるかを含め、村としてどのようなアイデアがあるのか気になります。また、外部の企業や人材の知見を導入することについて村としてどのような立場なのかも気になるところです。（例えば宮田村では空き家対策について良品計画と協力しています。）
- ◆ 先日、中川村在住の高校生が発起人となって中川村の吹奏楽団を発足しようという取り組みの顔合わせ会(?)に参加させていただきました。学校の部活動で日常的に楽器に触れている人もいれば、吹奏楽が全く初心者の方もいらっしゃって、本格的に活動でき

るようになるまで、想像していたよりも時間やお金がかかりそうだな話していて思いました。全員がマイ楽器を持っている訳でも、即購入できる訳でもありません。おまけに団体の共有資産として楽器を買ったとしてもどこに保管するのか、そもそもそのお金はどのようにして工面するのか、など数々の問題点がそれはそれはいくつも出てきました。長野県内の他の市区町村には吹奏楽団があるところもありますが、一体その自治体さんはどのように活動しているのか知りたいなと思うと共に、村にも可能な限りバックアップしていただくと大変助かるなと思いました。

- ◆ 「村づくり委員会」の記事がありましたが、いまひとつなんなのかわかりませんでした。
- ◆ 中川村への移住を検討している子育て家族がいますが、地区に入らないと白い目を向けられるのではないかと迷っています。飯沼地区で地区を抜きたいと話を上げた方が、怒鳴ってそれは許されないと周囲から言われたという話を耳にしました。今の時代に耳を疑いましたが、私が住む中通では地区に入られていない方もいらっしゃいます。このようなバラツキは村全体でガイドライン的な物が作れないものなののでしょうか。

6 その他（お気づきのこと ご意見を自由に）

- ◆ あまりなじみのない言葉の意味がわからず、調べてみたりしています。例えば今回でしたら「ゾーニング」「プロポーザルコンペ」など。書面でしたら調べることも可能ですが、会話の中ではそれも難しいです。できるだけわかりやすく伝えていただくことは様々な場面で大切かと思えます。
- ◆ 期日前投票がチャオでできるといいですね。
- ◆ 先日朝の全国ニュース番組で移住したい村 No.1 の宮田村がとりあげられていました。コンパクトな生活拠点範囲と、移住者や若者の意見を取り入れて空き家や移住の取り組みをしているとのことでした。空き家・移住対策進んでいるようでした。